

社格

所在

○埼玉郡四座

並小○今屬  
埼玉縣管下

前玉神社二座

祭神 前玉姬命

大已貴命

今按土俗の口碑に此神社崎玉郡の鎮守なり祭神は前玉姬命或は木華開耶姬命なりなど云傳ふ又一説に中頃淺間宮か此神いとさかりていつとなく本社を社地内へ勧請せしに傳はれて共に淺間宮と唱ふることとなりたりとぞ  
この前玉姬命は古事記に速襲之多氣佐波夜遲奴美神此神娶天之甕主神之女前玉比賣云々とみえ前玉命は舊事紀に振魂尊兒前玉命とある神と聞ゆさて土俗の口碑及崎玉村社傳祭神前玉姬命と云るは埼玉と云ふによれる説なるべけれど屈巢村の社傳を以て考ふるに書紀一書に大國主神與吾共理天下者蓋有之乎于時神光照海忽然有浮來者曰如吾不在者汝何能平此國乎由吾在故汝得建其大造之績矣是時大已貴神問曰然則汝是誰耶對曰吾是汝之幸魂奇魂也夫已貴神曰唯然通知是吾之幸魂奇魂今欲何處住耶對曰吾欲住於日本國之三諸山故即營宮彼處使就而居此大三輪之神也とあるに因らば前玉神は即幸魂神にて大物主神なるべ

く屈巢村にます久伊豆神社祭神大已貴命と云は大國主神にて久伊豆は國主の轉なるべく又村名の屈巢も古へは國主と書りと云へばいよいよ大國主神ならんとぞ思はる姑附て後考に備ふ  
祭日 三月二十八日五月晦日六月一日十四日  
社格 郷社

所在 埼玉村一座在屈巢村(北埼玉郡埼玉村大字埼玉)

今按和名抄に郡名も郷名も佐以多萬とあり萬葉集に佐吉多萬能津とみえ今埼玉村名と社號と相かなひて村中に佐吉多萬能津の舊稱ありと云ひ口碑もあれば本村なるを式社と定めて可ならん然るに一説根古屋村なりと云は證據もあらねば從がたし姑附て考に備ふ

玉敷神社

祭神 大已貴命  
祭日 三月十五日

社格 郷社

所在 騎西町(北埼玉郡騎西町大字騎西)

今按註進狀に證據詳かならねど往古同郡根古屋村にありしを正能村へ移し慶長中又今地に移せりと土人の口碑に存し根古屋正能の兩村に古宮蹟と云ふ處あるも一證に備ふべし

宮目神社

祭日 三月十五日

社格 村社

所在 富田村(大里郡男衾村大字富田)

出雲乃伊波比神社

祭神 須佐之男神

今按武藏式社道程命附に祭神三種津姬命相殿譽田別天皇天兒屋命にて今八幡春日と云とあれど信がだし明細帳に祭神須佐之男神とあるは上の出雲伊波比神社の條に云る如く天穗日命に由ありて出雲神にませば須佐之男神を祭ると云も古傳なるべし故今之に従ふ  
祭日 八月十五日

社格 村社(郷社)

所在 赤濱村(大里郡男衾村大字赤濱)

稻乃賣神社

祭神 稻乃賣命

祭日 九月十九日

社格 村社

所在 鉢形郷木持村(大里郡鉢形村大字鉢形)

○播羅郡四座

白髮神社

祭神

並小○今屬  
埼玉縣管下

祭神 大宮賣神

今按註進狀に祭神未詳一説に多紀理姬命市杵島姬命多紀津姬命とあれどこは中古姫宮と云より唱出たる説にて信がたけれど大宮賣神を祭れるを後には姫神とも姫宮とも唱へて遂に祭神の名を失ひ姫宮と云より三女神と説れるなるべし故今訂して記せり

祭日

社格 (明細帳に姫宮社とあり 村社)

所在 百間村 字 姫 (南埼玉郡百間村大字百間西原字姫宮)

今按一説騎西町にあり又柏間村神明社とも云へど騎西町なるは祭神大山祇命と云も疑はしく舊記等の證とすべきものなし柏間村なるは社地に宮原と云小名あるのみにて證あるに非ざれば信がたし百間村なるは姫宮神社と云ひ土人も宮目社と云傳へ祭神は三女神と云ひ應永年中鏝口に太田庄南方百間姫宮と銘あるも一證とするに足れり故今之に従へり

○男衾郡三座

並小○今屬  
埼玉縣管下

小被神社

祭神

今按明細帳祭神瓊々杵命相殿木花開耶姬命彥穗々出見命とあるは何の據ありて云るか考べき由なし

武藏國 男衾郡・播羅郡